

# 総務教育常任委員会資料

(平成29年8月21日)

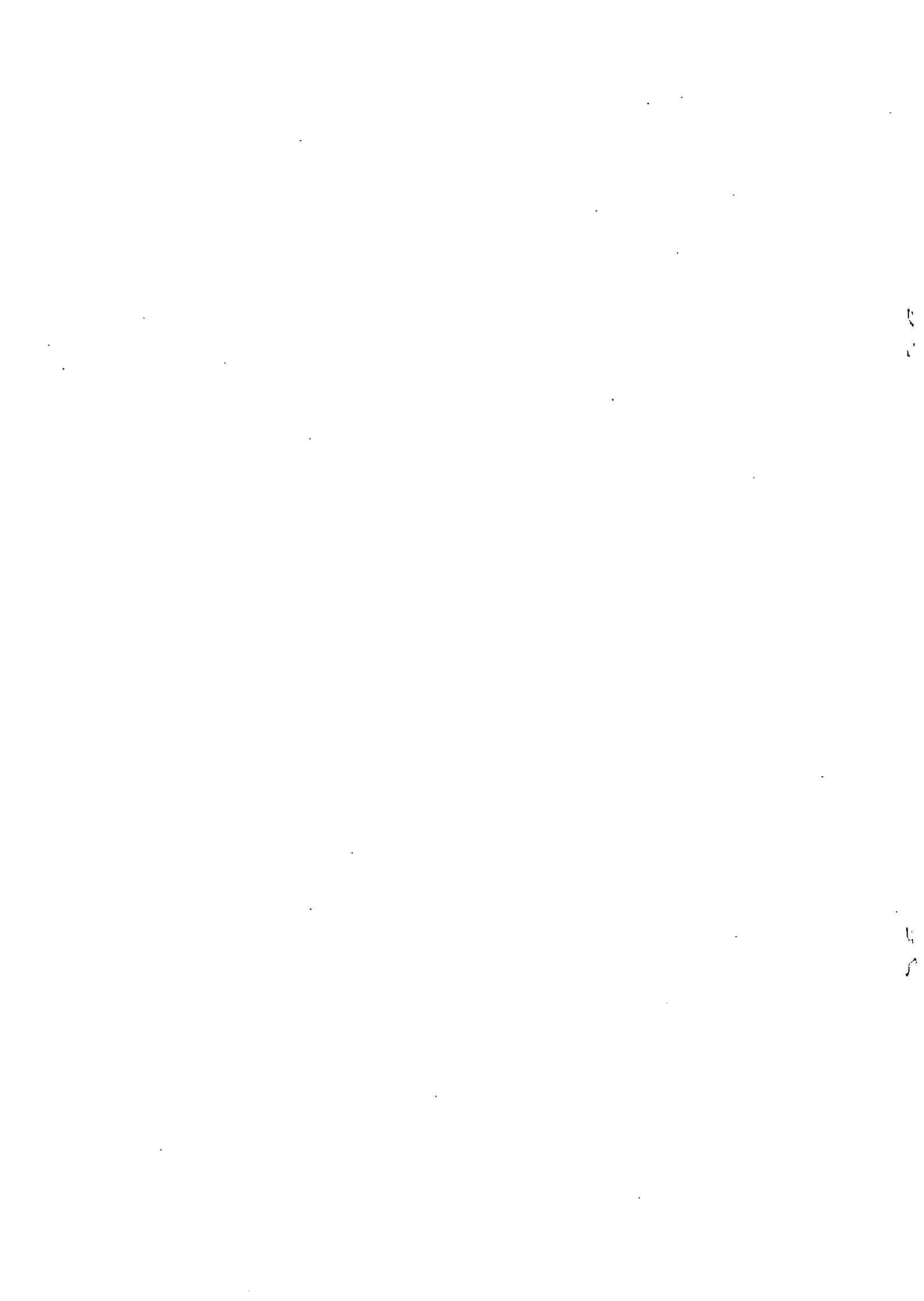
## 【項目】

ページ

「鳥取県中部地震からの復興を考える会」の開催結果について

【中部地震復興本部事務局】・・・ 1

鳥取県中部地震復興本部事務局



## 「鳥取県中部地震からの復興を考える会」の開催結果について

平成29年8月21日  
中部地震復興本部事務局

平成28年10月に発生した鳥取県中部地震からの復興に向けた現状や今後の対策について、中部市町長と意見交換を行う「鳥取県中部地震からの復興を考える会」を開催したので、その概要を報告します。

### 1 日 時

平成29年7月31日（月）午後1時30分から3時まで

### 2 場 所

ホテルセントパレス倉吉

### 3 出席者

中部市町長、知事、県の担当部長等

### 4 概 要

中部市町長と今後の復興の対応策等について意見交換を行い、以下のとおり方向性を確認した。

#### (1) 公営住宅入居者への対応について

やむを得ない事情等がある入居者については、入居期限の延長を認めることについて、各市町長と方向性を確認し、今後、県及び中部市町で要件及び仕組みについて調整を行っていく。

#### (2) 鳥取県被災者住宅再建支援制度について

中部地震で創設した支援制度の大枠を維持していくことについて、各市町長と方向性を確認し、今後、市長会議及び町村長会議等でも議論を行い、今年度中に被災者住宅再建支援基金の積立方法等の枠組みについて調整を行っていく。

#### (3) 地域防災力の強化について

支え愛マップの作成、自主防災リーダーの養成等、県全体で地域の防災力を強化していく。

#### (4) 住宅修繕の推進について

ボランティア団体等による住宅修繕支援について、県で支援策を検討する。

また、県から、住宅実態調査（空き家調査含む）に係る人的支援について、要請に応じた県職員支援を行うことを提案した。

#### (5) 県版経営革新総合支援補助金（復旧・復興型）について

県から、商工団体等と相談の上、実態を踏まえ、補助要綱を改正し、工期の延長に柔軟に対応していくことを提案した。

#### (6) 誘客対策について

県から、観光協会等と相談し、誘客キャンペーンを計画することを提案した。

### 5 各市町長の主な発言

#### (1) 倉吉市長

- ・公営住宅について、個別理由がある場合に延長を認め、そのまま住み続ける場合は有償とすることも必要。

- ・簡易的にでも雨漏りを止めることをやっていく必要がある。
- ・昼夜問わず対応できるようリーダーを複数育成する等、住民全体の防災力のレベルアップを図る必要がある。
- ・住宅再建支援金及び住宅修繕支援金の未申請者に対し各自治公民館による聞き取り調査を実施予定。
- ・県版経営革新総合支援補助金（復旧・復興型）で、事業者の都合で補助完了期限に工事が間に合わない案件があると聞いており、対応をお願いしたい。特に重伝建地区（重要伝統的建造物群保存地区）は特定の事業者に工事発注が集中しており、復旧にはしばらく時間がかかる見込み。

(2) 三朝町長

- ・町職員によるブルーシート設置家屋の実態調査を実施中。町内業者への発注が多いが今年中には完了する見込み。
- ・被災者住宅再建支援制度の維持をお願いしたい。
- ・観光客数が減少しており、県及び中部市町が総力を挙げて取り組んでいきたい。

(3) 湯梨浜町長

- ・町営住宅については、年収の多い世帯で継続入居希望があるなど一律の無償入居期間延長には疑問。
- ・半壊世帯については、実態調査済み。8月に半壊未済の世帯についても情報収集予定。
- ・発災後、キャンペーン等により宿泊者数が例年並みに盛り返したが、その後の大雪により減少した。夏に向け、入り込み客数の増加を図っていきたい。

(4) 琴浦町長

- ・4月29日にリニューアルオープンした道の駅「琴の浦」の来場者数が5月、6月とも伸びている。

(5) 北栄町長

- ・町営住宅の入居期間は2年間、その後は有償を想定している。
- ・住宅修繕支援金については1～2万円程度では修繕は難しく効果が薄い。その分を大きな被害部分に対して活用するほうが効果的。
- ・今回の地震により老朽化した空き家が倒壊した事例があった。空き家実態調査の再調査を検討しており、県にも応援して欲しい。
- ・確定申告時に昨年度と同様の人的支援をお願いしたい。